

公の施設目標管理シート（直営）

問合せ先	025-373-6600
------	--------------

年度	平成30年度
施設名	新潟市曽我・平澤記念館
所管部・課	南区役所地域総務課
施設の設置目的	曽我量深及び平澤興の遺品及び関係蔵書を収集し、保存し、及び公開することにより、曽我量深及び平澤興の業績を顕彰するとともに、市民文化の向上に努めます。

当初予算(千円)	当初人員(人)	作成日	平成30年6月23日
歳入	32	正職員	1
歳出	5,624	非常勤	
		修正日	
		評価日	令和元年7月7日

No.	視点	目標	評価指標					参考・補足	主な事業等	目標達成状況 未達成理由	評価	
			項目	H27実績	H28実績	H29実績	H30目標					H30結果
1	市民	入館者がゆっくりくつろげる場の提供	喫茶コーナーの設置	1ヶ所設置 約1,769人が利用した。	2か所設置 計2,331人が利用した。	2か所設置 計1,800人が利用した。	2か所設置 計2,000人の利用を目指す。	2か所設置 計2,300人が利用した。	夏場(6月～9月)には氷水をポットに入れ「冷水」サービスとして来館者に涼を味わってもらう。	・セルフサービスでのコーヒーコーナー設置 ・冷水サービス(ポットに氷水) ・日本茶コーナーを設置	来館者の増加により利用者も増となり目標達成できました。	B:達成
2	業務	庭園の維持管理、景観の向上	特に、芝生の維持管理を徹底し、芝刈りを行う。	草刈、除草、葉散布合計年15回	草刈、除草、葉散布合計年14回	草刈、除草、葉散布合計年11回	草刈、除草、葉散布合計年13回	景観を良くすることにより、来館者がゆったりとした時間をすごしてもらえるよう環境整備を心がける。	芝刈り4回、除草3回、葉散布4回	目標を上回る作業を実施し、目標達成できました。	B:達成	
3	財務	消費電力の省エネ化	入館者がいない時は、消灯に心がけ、電力消費の減少に努める。	約1%減の24,942KWhを達成した。	目標の99.7%の26,420KWhを達成した。	目標の98.7%の26,059KWhを達成した。	26,000KWhを超えない使用量を目指す。	目標の104.0%の27,047KWhであった。	前年度実績を超えないよう、不要な点灯に注意する。	こまめな消灯	猛暑だったことが大きな要因となり、冷房時の電気消費量が多くなり目標達成できませんでした。	C:未達成
4	財務	ガス消費量の省エネ化	冷暖房の温度管理を徹底する。	296㎡増の4,596㎡(+5.5%)を使用	目標の103.2%の4,953㎡であった。	目標の120.7%の5,915㎡であった。	5,100㎡を超えない使用量を目指す。	目標の118.0%の6,016㎡であった。	館内の気温上昇を抑制する為の工夫を講じていく。	温度管理の徹底	猛暑だったことが大きな要因となり、ガスの消費量が多くなり目標達成できませんでした。	C:未達成
5	業務	防火訓練の実施	公共施設である記念館の防火訓練を全職員を対象に行う。	年1回	年2回	年2回	年2回	年2回	新潟市消防局南消防署職員の指導の下、初期消火訓練を実施し、初動体制の更なる強化に努める。		9月と1月に予定どおり実施し、目標達成できました。	B:達成
6	人材	情報の共有化と人材育成	地域総務課との打合せ会議、コンプライアンス研修、情報セキュリティ研修など年3回以上実施	—	年11回	年8回	年8回	年8回	臨時職員にもコンプライアンス等の研修を実施するとともに、所管課である南区地域総務課と情報交換会議を行い、その内容についても共有を図っていく。		研修や情報交換会議などを実施し、目標回数を達成できました。	B:達成
7												
8												
9												
10												

取り組みについて(目標設定の考え方など)	総合評価 (評価を踏まえた課題分析・方向性など)
<p>曽我量深、平澤 興、両偉人の記念館としてふさわしい施設の維持管理を行う考えで目標を設定しています。</p>	<p>入館者の満足度を向上させるため、8年目を迎えた喫茶コーナーを充実させて設置して好評となっている。今後も来館者からゆったりとくつろいでもらうため、おもてなしのサービスにつめていきます。また、くつろいでいるときに視界に入ってくる前庭の環境美化についても、計画的に芝刈りや草刈りなどを行い、心地よさを感じられる空間になるよう心がけます。</p> <p>エネルギーの節減対策については猛暑により、目標を達成できなかった部分もありますが、今後も来館者からゆったりとした時間を過ごしていただくために空調運転にも心がけ目標達成に向け努力していきます。</p> <p>職員の資質向上については、年3回の研修に加え、係会議の報告を併せて行ってきたことなどから、同じ考えで全員が執務することができました。</p>